

地域で育つ子どもたちの成長

子どもサポートってなんだろう？

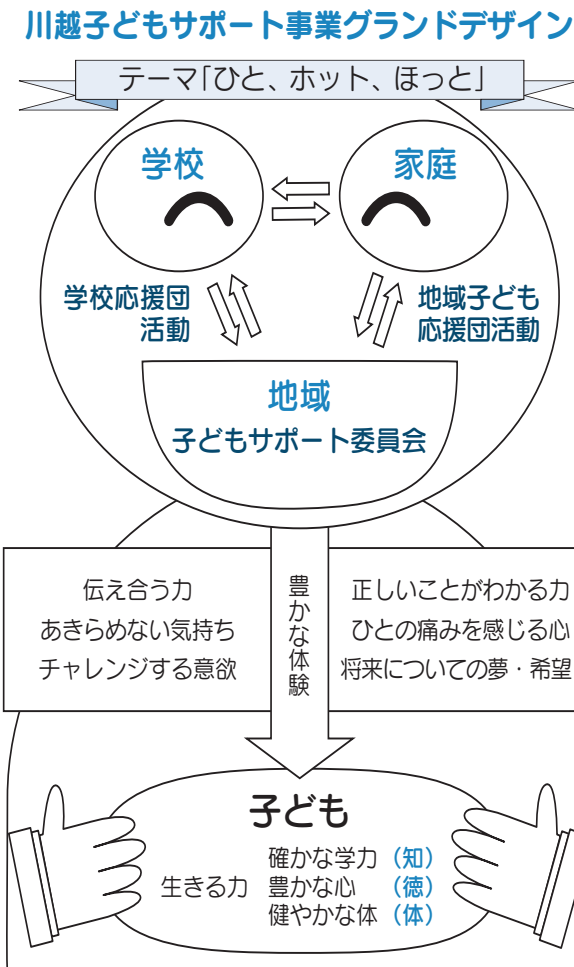
地域教育支援課 224-6086

平成16年度からスタートした子どもサポート事業。テーマは、「ひと、ホット、ほっと」。地域の人（ひと）との、温かな（ホット）ふれあいを通して、子どもたちに心温まる（ほっとする）体験を！という考えのもと、各地区でさまざまな取り組みが行われています。

子どもサポート事業の目的

時代とともに、生活スタイルの変化や、核家族化・少子高齢化が進み、子どもを育てる環境も変化してきま

した。自然の中で遊んだり世代を超えた人との触れ合いをしたりといった、子どもの成長に必要な豊かな体験の機会が減ってきています。そのような状況を改善するため、



子どもサポート委員会とは

同委員会は、地域の皆さんや学校関係者などで構成されています。年齢・性別・職業などはさまざまです。公民館の区域を基準に、市内を14の地区に区分して活動を行っています。

活動内容は、委員の持っている技術や経験を生かしたことから、専門的な知識を必要とするものまであります。学校や保護者からの要望を基に、どのような講座・催しをするか



を決めています。

子どもたちが地域の異なる世代の人と一緒に活動することは、思いやりや感謝の心、社会生活でのマナー、善悪を判断する力などの豊かな人間性や社会性を身につける重要な体験につながります。

活動事例

子どもサポート委員会では、右ページのグラウンドデザインを基に、地域子ども応援団活動・学校応援団活動を行っています。

地域子ども応援団活動

子どもたちを、学校・家庭・地域の輪の中で育て、ふれあいと思いやりのある地域社会を形成するため、子どもと地域との交流をサポートします。活動内容は主に自然体験、勤労体験、文化体験、野外活動などです。地域の祭りや田植えなどの農業体験、防災キャンプなどを通して、子どもたちの社会性も身につけることができます。

事例1 寺子屋

芳野地区子どもサポート委員会

今年で5年目を迎える寺子屋。小学生約90人が参加し、3日間、夏休みの宿題や書道、読書感想文などに取り組みました。「寺子屋を通して、他の学年の人たちと行動することで、勉強だけでなく人間関係



も学んで欲しい」と芳野地区子どもサポート委員長・関根真奈美さん(上老袋・51歳)。サポート委員は、学習を見守るほかに、話を聞くとときの態度や勉強への取り組み方などにも目を配ります。



子どもサポート委員会2年
山田地区子どもサポート委員会
芳野地区子どもサポート委員会
目米川陽子(石田本郷・40歳)

息子の学校の活動に参加したことがきっかけで、自分も地域の役に立ちたいと思い、子どもサポートに登録しました。受験生の子もがいるので、無理のない範囲で自分のできるサポートに参加しています。イベントなどで子どもたちの楽しそうな様子を見ると、活動の励みになります。また、普段の生活ではなかなか見ることのできない子どもたちの表情を見ることができて、とても新鮮です。

学校応援団活動

学校で学習する地域の文化・歴史・産業・自然の授業に、指導者・支援者として参加します。活動内容は主に学習活動、環境整備、安全・安心

の確保、クラブ活動などです。地域の人々が学校の授業に参加することで、学校に関心を持つきっかけになっています。

事例2 藍染めコース

山田地区子どもサポート委員会



山田小学校の藍染めコースは、5年生の総合的な学習の授業で行われます。初日は藍染めの起源や歴史、2日目は図柄の制作、3日目は実際の染色という全3回の工程で行われました。サポート委員会は、授業内容を学校と調整したり、道具を用意したり、授業中の作業の進行を補助したりします。



山田地区子どもサポート委員会7年
目米川陽子(石田本郷・68歳)

当初、小学生と話す機会が少なかったため、どんな会話をし

たらよいか不安でした。でも、回を重ねるにつれ不安は消えました。下校指導のとき、体調を気遣う言葉をかけられてとても感動しました。子どもは素直で優しいと実感しました。授業のサポートをするときは、子どもにとつて最初の印象がとても大切なので、どうしても楽しんで取り組むことができるかいつも工夫しています。また、それを考えるのがやりがいでもあり、楽しみでもあります。

一緒に活動しませんか

「子どもを見れば地域が分かる」という言葉を聞きます。子どもサポート委員の皆さんは、子どもたちと触れ合うことで、今までより地域に目を向けるようになったと言います。「地域の子どもたちは地域で育てる」を目標に、これからも活動を続けていきます。

同委員会では、一緒に活動するメンバーを募集しています。保護者の方はもちろん、多くの地域の方々が参加することが、子どもたちの豊かな体験につながります。関心のある方は、地域教育支援課またはお近くの公民館にお尋ねください。